



ししくら登 県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

12月県議会一般質問

花見川区、安全安心な市民生活を

だれもが住み良いと思える街づくりを注いでいる
 穴倉議員 花見川区は、
 一般質問に登壇し、花見川区の治安情勢や千葉港の活用
 促進、縄文貝塚についてなど、多項目にわたって県民・
 市民の立場から県執行部の考え方をたずねました。その
 概要をお伝えします。

穴倉議員 花見川区は、
 千葉西警察署と千葉北警察
 署が管轄しており、我々住
 民の安全安心の生活を守つ
 ていただいている。
 一方で、県内の治安情勢
 は、昨年、凶悪犯罪が連続
 発生したほか、令和7年上
 半期の特殊詐欺の被害額は



12月県議会一般質問に登壇した穴倉議員

千葉港の利用促進に向けて

穴倉議員 千葉港は、外
 環道、東関東、京葉道路、
 圏央道などの交通網の中心
 に位置していることから、
 混雑する都心を通ることな
 く関東各地へのアクセスが
 可能であり、圏央道や新湾
 岸道路の整備が進展した際
 には、千葉港への道路アク
 セスが飛躍的に向上するこ
 とが期待される。
 千葉港は、陸、海、空の
 結節点であり、更なる道路
 アクセスの向上や空港との
 連携も見込まれており、本
 県の物流拠点として成長す
 ることが期待される。
 そこで何う。千葉港の更
 なる利用促進のため、どの
 ような取組を行っているの
 か。

県土整備部長 千葉港で
 は、貨物需要増大に伴う船
 舶の大型化への対応や荷役
 の効率化に向けたふ頭再編
 整備を進めるとともに、コ
 ンテナミナールを利用す
 る荷主向けの助成制度の充
 実を図るなど、利用促進に
 向け、ハード・ソフト両面
 の取組を行っているところ
 です。
 また、本年11月には、荷
 主企業や物流事業者、船会
 社などを対象に、これらの
 取組を含む千葉港の魅力
 を紹介し、商談の機会を提
 供する千葉港ポートセミナー
 を開催するなど、利用促進
 に向けて積極的に広報活動
 に取り組んでいるところで
 す。
 令和8年度に予定されて
 いる圏央道の全線開通や、
 計画の具体化が進む新湾岸
 道路など、千葉港を取り巻
 く環境が大きく変化してい
 ることから、引き続き、港

の取組を行っているところ
 です。
 また、本年11月には、荷
 主企業や物流事業者、船会
 社などを対象に、これらの
 取組を含む千葉港の魅力
 を紹介し、商談の機会を提
 供する千葉港ポートセミナー
 を開催するなど、利用促進
 に向けて積極的に広報活動
 に取り組んでいるところで
 す。
 令和8年度に予定されて
 いる圏央道の全線開通や、
 計画の具体化が進む新湾岸
 道路など、千葉港を取り巻
 く環境が大きく変化してい
 ることから、引き続き、港

知件数は、1,020件であ
 り、そのうち73.5パーセン
 トである750件を窃盗犯
 が占めております。
 また、検挙件数は323
 件であり、そのうち64.7パ
 ーセントである209件を窃
 盗犯が占めているところで
 す。
 そのほか、特殊詐欺につ
 いては、認知件数が33件、
 被害額は約1億7千5百万
 円であり、検挙件数は12件
 となっております。

穴倉議員 花見川警察署
 の新設に向けた現在の検討
 状況はどうか。
警察本部長 警察署の新設
 については、管轄地域の面積、
 人口、治安情勢等も踏まえ、
 総合的に判断してきたところ
 です。

警察署の新設につ
 いては、治安情勢等
 を踏まえ、総合的に判断さ
 れると答弁いただいたが、治
 安面と市民生活の利便性と
 いった面から、千葉市の行政
 区ごとに警察署が設置する
 ことにより、効率的な業務
 運営が期待されるので、花
 見川警察署の新設に向けた
 検討をしていただくことを
 強く要望する。

湾利用者からの要望を伺
 いながら、利用促進に向け
 た取組を推進してまいりま
 す。
 そこで何う。千葉港千葉
 中央地区において、ROR
 O船の利用拡大に向け、ど
 のような整備を行っている
 のか。

穴倉議員 近年、貨物輸
 送において、従来主流で
 あったトラックによる陸上
 輸送から、環境負荷が比較
 的小さく、かつ大量輸送が
 可能となる船舶による海上
 輸送への転換、いわゆる
 「モーダルシフト」が進展し
 ており、重要な取組と考え
 ます。

県土整備部長 国内物流
 においては、陸上輸送から
 海上輸送へのモーダルシフ
 トの進展に伴い、ROR
 O船による輸送需要が高まっ
 ていることなどから、船舶
 の大型化が進んでいます。
 現在、千葉港千葉中央地
 区では、関西方面との間に
 就航しているRORO船の

ですが、今後の人口動態や警
 察署新設に伴う職員の確保
 といった面を考慮すると、現
 状において警察署を新設する
 ことは困難と考えています。
 県警では、治安情勢等を
 踏まえた警察官の配置見直
 し、自動車警察隊を始めと
 する県本部執行隊による応
 援などの複合的な取組によ
 り、地域の治安維持に支障
 が生じることのないよう万
 全を期してまいります。

警察署の新設につ
 いては、治安情勢等
 を踏まえ、総合的に判断さ
 れると答弁いただいたが、治
 安面と市民生活の利便性と
 いった面から、千葉市の行政
 区ごとに警察署が設置する
 ことにより、効率的な業務
 運営が期待されるので、花
 見川警察署の新設に向けた
 検討をしていただくことを
 強く要望する。

要望 今後も、東京港や
 横浜港に負けないよ
 う、魅力ある千葉港の整備
 を進めてもらいたい。

大型化に対応するため、国
 の直轄事業により出洲埠頭
 D岸壁の水深を深くする改
 良工事を実施しており、今
 後、県において、輸送貨物
 の置き場となる野積場の整
 備を行う予定です。
 港湾利用者からも、これ
 ら施設の早期の供用開始が
 求められていることから、
 引き続き、国や関係機関等
 と調整を図り、令和9年度
 の利用開始を目指し、整備
 を進めてまいります。

●県政や市政についてあなたの声を聞かせてください!

ししくら登 事務所

〒262-0032

千葉市花見川区幕張町3-892

TEL043-271-0606

FAX043-271-0605

HPもご覧ください。・・・

http://shishikura-noboru.jp/

過去から未来につながる縄文貝塚の活用

宍倉議員 千葉県は全国都道府県の中で、縄文時代の貝塚の数が最も多く、また国指定史跡に指定された貝塚も全国最多であることから、縄文貝塚は千葉県の歴史・文化を象徴する、非常に価値の高い遺跡群であると思う。

そこで何う。縄文貝塚の活用について、県として積極的に取り組むべきと考えられているのか。

教育長 特別史跡加曽利貝塚をはじめとする多くの縄文貝塚は、三方を海に囲

まれた千葉県の豊かさを象徴する貴重な財産であり、地域活性化等に向けて積極的に活用する必要があると認識しています。

県教育委員会では、県内の重要貝塚のひとつである「いすみ市新田野貝塚」の発掘調査や、商業施設において地元で出土した縄文土器等の展示を行うとともに、市町村が行う縄文貝塚の調査や史跡整備に対する助言を行っているところです。

今後は、県と市町村が相互に連携し、縄文貝塚の意

義と魅力について調査・研究を行い、郷土愛の醸成や地域活性化等につながるよう、県内が一体となって貝塚のブランドイメージ向上に努めてまいります。

要望 千葉市と連携し、特別史跡である加曽利貝塚の魅力向上に努め、さらには、過去から未来につながる縄文貝塚全体のブランド化に関する取組を推進していただきたい。

掘調査や、商業施設において地元で出土した縄文土器等の展示を行うとともに、市町村が行う縄文貝塚の調査や史跡整備に対する助言を行っているところです。

今後は、県と市町村が相互に連携し、縄文貝塚の意義と魅力について調査・研究を行い、郷土愛の醸成や地域活性化等につながるよう、県内が一体となって貝塚のブランドイメージ向上に努めてまいります。



宍倉議員から要望する

県立高校で地域人材育成を必要とされる

宍倉議員 人口減少社会が本格的に到来する中、様々な分野や産業で人材不足が危惧されている。

来年度からの私学の授業料無償化の動きがある中で、県立高校離れが心配されるが、将来の地域や産業を担う人材育成に、これまで以上に取り組んでいただきたいと思う。

そこで何う。県立高校では、地域に必要とされる職業人材を育成するため、どのように取り組んでいるのか。

教育長 県教育委員会では、社会の変化や地域のニーズを踏まえ、キャリア教育や職業教育の充実を図るとともに、職業系専門学科における学びの魅力向上や、普通科高校に工業基礎や医療、福祉などのコース設置

を進めてきたところで、さらに、本年10月に策定した県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラムにおいて、工業系高校では、生徒の多様な興味や関心に対応できるよう学科の再構成を行うとともに、水産系高校では、地域の特性を生かした水産教育の充実に取り組むこととしています。

引き続き、専門学科等の魅力を伝えるため、小中学生向けの体験授業や様々な広報活動を行うとともに、各高校の特色ある学びを更に充実させることで、職業人材の育成に努めてまいります。

要望 県立高校で、その人材育成の大きな役割を担っているのが職業系専門高校であると思う。専門学科の学びには、施設や設備が必要になるが、より実践的な企業等のニーズにあった学びを取り入れていくためには、民間団体や様々な団体と連携をして学びの場を確保していくことも必要だと思う。

そこで何う。職業系専門学科の魅力向上を図るため、民間との連携を強化していくべきと思うのか。

教育長 近年の産業構造の変化やデジタル技術の進化などにより、企業等から求められる人材は変化しており、就職後には必要となる知識や技術を踏まえた実践

的な学びを取り入れていくことは重要と認識しています。県教育委員会では、工業や農業、福祉の専門学科の拠点校に、企業や大学等と連携を図るためのコンソーシアムを設置し、出前授業や共同研究のほか、産業界に求められる人材に関する情報交換等を実施しています。

また、第2次実施プログラムでは、工業高校の生徒が、学校での学びに加え、地元企業での実習により実践的な技術・技能を身に付けることができるデュアルシステムを取り入れることとしており、民間と連携した取組を更に推進してまいります。

要望 本県においても、民間との連携を一層深め、専門学科等の魅力向上と施設設備の充実を図り、引き続き、地域や社会のニーズに応える人材育成に努めていただきたい。

そこで何う。県内における再生可能エネルギーの導入目標と現状はどうか。

環境生活部長 2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、再生可能エネルギーの主力電源化が不可欠であることから、本県においても、千葉県地球温暖化

再生可能エネルギーの導入

宍倉議員

日本のエネルギー需給構造は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。

再生可能エネルギーの導入は、現在、石油や天然ガスなどの化石燃料に大きく依存しており、これらのほとんどを外国からの輸入に頼っていることから、エネルギー需給構造の脆弱性が日本における課題のひとつとなっている。